

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo 1.5 2006年1月号

新年早々物騒な話で大変申し訳ないのですが、病気か何かでもしも明日死ぬことがわかったら、みなさんは最後の1日をどのように過ごされますか。

以前に比べるとだいぶ少なくなったそうですが、それでも去年交通事故で亡くなった方は7,000人以上いたそうです。また最近、建物の耐震強度偽装問題をきっかけに地震の話題を目にすることが多くなりましたが、日本ではどこで地震が起きてもおかしくないそうです。特に首都圏で大地震が起きたらたくさんの方が亡くなると予想されています。鳥インフルエンザも話題となっていますが、新しい病気は次から次へと出てきますし、去年白血病で亡くなった歌手の本田美奈子さんは私と同じ年でした。私は、人はそう簡単には死なないと思っていますが、でもいつ何が起るかはわかりません。

こうした中で生きている私たちにできることは、困ったことが起こらないようにと日々不安を持って生きることではなく、何が起っても悔いがないよう毎日を大切に生きることだと誰かから教わりました。毎日が充実していれば、たとえ明日死ぬことになっても後悔は少なくて済むかもしれません。

でも毎日を充実させるために好きなことだけやって生きるわけにもいきません。それでは前月書いた「ギリギリス」と同じで、あとで困ることになってしまいます。実際、多くの方は長生きする確率のほうが圧倒的に高いはずだからです。(そうでないと、生命保険会社はみんな倒産してしまいます。)

生きて行くためには好きでないことをやらなければならないでしょうし、いやな出来事も起こります。そんな中で毎日を充実させるにはどうすればいいのでしょうか。大変難しいことですが、私はそのいやなことも楽しむことだと思っています。「毎日楽しく」生きることです。相田みつをさんのことばにもこんなのがあります。「泣いてもわらってもきょうが一番いい日 わたしの一生の中の大事な一日だから」

冒頭の明日もしも死ぬことになったらという問題ですが、私はきっと、欲しいものを買って、食べたいものを食べて、旅行に行って・・・と、とても1日では足りなさそうで、最後の1日はすごく後悔しそうです。

